

平成23年度施政方針関係施策（事業）の実績

平成23年度施政方針に掲げられた事業の取り組み状況・実績は次のとおりです。

上半期進捗：○実施済又は実施中、△一部実施又は年度内実施予定、×未実施又は検討中
 年度末実績：○実施済、△一部実施済、×未実施、

◆保健福祉施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①子ども医療費助成	子ども医療費助成は、昨年10月分より町独自に助成を拡充していますが、引き続き小学校6年生まで拡充し助成します。自己負担額は従来どおり1回200円として、子どもの保健の向上と保護者の経済的負担の軽減を図ります。	小学校6年生までを対象に、入院・通院・調剤医療費 総額48,656千円の助成を行いました。 対象児童：0歳から小学校6年生まで	○	○	こども課
②保育の充実	一時保育は、子育て中の家庭の「困った」を応援するため、中央保育園では満2歳から、岩橋保育園では満6か月からを対象に行います。また、岩橋保育園の園庭を拡充するなど保育環境の整備を図ります。さらに、新たに学校法人が行う認定こども園に保育を委託します。これにより、180人の定員が228人に増加することになり、潜在的な需要も含め待機児童の解消等を図ります。	・一時保育の利用状況 （利用定員・対象、利用児童数） 中央保育園 2人/日（2歳以上） 114人 岩橋保育園 3人/日（6か月以上） 178人 ・岩橋保育園の新園庭用地を取得しました。 ・入園児が昨年度と比べ、22人増え228人となりました。	○	○	こども課
③放課後子ども事業の推進	放課後子ども教室は、学校体育館や校庭の活用と教室メニュー等の内容を工夫しながら児童の健全育成を図ります。また、放課後児童クラブは、民設補助の「酒々井児童クラブ」と公設委託の「酒々井小学校すいっ子クラブ」、「大室台小大ちゃん学童クラブ」の3クラブがありますが、円滑な運営が図られるように努めます。さらに、ひとり親家庭への支援策として、昨年創設した放課後児童クラブ利用料の助成を引き続き行います。	・放課後子ども教室は、酒々井小学校25日、大室台小学校29日開催し、1日当たり平均して、それぞれ31人、57人の児童の参加がありました。 ・放課後児童クラブ平均登録児童数 酒々井小学校学童クラブ 39人 大室台小学校学童クラブ 57人 酒々井児童クラブ 54人 ・ひとり親家庭利用料助成 対象児童数15人 助成額合計201千円	○	○	こども課
④母子保健事業の充実	母子保健事業は、妊婦健診、心理発達相談など13の事業メニューにより子育て支援に取り組みます。特に、新生児訪問指導は、保健師等が家庭を訪問し、育児相談等、母親への支援を行い、育児不安の解消と虐待の防止に努めます。また、新規事業として、乳児相談時に出生祝品（ブックスタート）として絵本を配布し、乳児の健やかな発育を促します。	母子健康手帳交付 143件 新生児訪問指導 86名 マタニティクラス 実16名 延べ51名 ママパラス 実18組 延べ35名 乳児相談 4ヶ月児 対象者142名 受診者120名（受診率84.5%） 10ヶ月児 対象者144名 受診者118名（受診率81.9%） 1歳6か月児健診 対象者149名 受診者136名（91.3%） 6回実施 3歳児健診 対象者180名 受診者165名（91.7%） 6回実施 ゆりかごルーム 親468人 子479人 32回実施 幼児健診事後指導 125組 12回実施 心理発達相談 34人 12回実施	○	○	健康福祉課

⑤児童虐待の防止	全国的に児童虐待に関する相談件数が年々増加する中、町においても児童虐待防止への体制強化を図るため、「要保護児童対策地域協議会」を設置し、子どもの人権と安全を守ります。	「酒々井町子ども虐待防止対策協議会」に基づいた実務者会議を奇数月の第4火曜日の午後16時～17時開催。要保護児童に係る情報共有と支援検討を行いました。 また、毎月第2火曜日の午後16時～17時に印旛健康福祉センター家庭相談員と主任児童委員とともに子ども相談を年6回開催。	○	○	健康福祉課
⑥高齢者福祉施策の充実	高齢者を地域全体で支える「支え合い・助け合うまちづくり」がますます重要であり、一人暮らし高齢者への様子確認や、緊急時の連絡先の確認などを行う「見守り訪問」は、75歳以上の単身世帯を対象に、独居老人が安心して生活ができる地域づくりに取り組みます。さらに、75歳以上の高齢者夫婦世帯で、一方が要介護状態の世帯に対しても同様の訪問を行います。また、緊急通報装置の貸与サービスや成年後見人制度について周知を図り、高齢者がいきいき暮らせる町づくりを推進します。	75歳以上の単身世帯、75歳以上の高齢者夫婦世帯で一方が要介護状態の世帯について、民生委員の協力を得て300世帯余り訪問し、緊急通報装置の貸与サービスや成年後見人制度等の高齢者福祉サービスを紹介しながら緊急連絡先等の情報を収集、関係機関で情報の共有を図りました。	△	○	健康福祉課
⑦心の健康づくりの推進	老々介護など介護者の精神的、身体的な負担や悩みごと相談などを支援していく「心の健康づくり」を推進し、地域包括支援センターと連携を図りながら引き続き取り組み、介護者を支援します。	地域包括支援センターにおいて認知症の理解と接し方をテーマに「在宅介護かけはしの会」を開催しました。 第1回・・・6月 7日（火）参加者45名 第2回・・・8月30日（火）参加者41名 第3回・・・11月24日（木）参加者25名	○	○	健康福祉課
⑧生きがいデイサービス事業の充実	比較的元気な高齢者に対して、生活の質の向上、とじこもりによる社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図り、生きがいのある生活を送ることで要介護状態への移行を予防することを目的に、隣保館と社会福祉協議会を会場に週3回のデイサービス事業を行います。	H22年5月より社会福祉協議会で毎週火曜日にデイサービスを1日増やして開催しています。 登録者 火曜日（社協）28人 水曜日（隣保館）22人 金曜日（隣保館）31人	○	○	健康福祉課
⑨介護予防対策の推進	普及・啓発のための各種教室を開催して、介護予防を図ります。特に、運動を中心として行うチャレンジ教室は、自治会等の要請により年3地区の予定で行います。また、高齢者の総合的な支援を行う、地域包括支援センターの円滑な運営を図るため、連携を密にして取り組み、住み慣れた地域で生活を送れるよう支援します。	ソフトエクササイズ 全18回 実27人 延べ195人 元気になるうすいの会 全8回 実15人 延べ86人 健康太極拳 全12回 実21人 延べ192人 ダンス・ダンス・ダンス 全6回 実17人 延べ81人 健康体操 全8回 実17人 延べ90人	○	○	健康福祉課
⑩障害者福祉施策の推進	障害のある人が地域社会の一員として豊かな生活を送れるように、障害の有無に関わらず相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指し、障害者の生活を支援する障害者地域生活支援事業をはじめとした、各種保健福祉サービスの一層の推進を図ります。	障害者自立支援法に基づく、介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具給付、地域生活支援事業を実施しました。	○	○	健康福祉課

⑪健康づくり施策の推進	健康増進事業として、各種検診、健康教育、健康相談等の事業を行います。なお、女性特有のがん検診（乳がん、子宮がん）は独自に継続して行います。さらに、小学校5年生と保護者を対象とした「いきいきすいっこ教室」を開催し、子どもの時から生活習慣病予防の啓発に取り組みます。	健康手帳の配布 522冊 健康教育・・・ヘルスアップセミナー 9回 実25人 延べ179人 健康相談・・・来所者 延べ355人、電話 延べ90人	○	○	健康福祉課
⑫予防接種事業の推進	中学1年生から高校1年生の女子に子宮頸がんの予防接種を行います。また、ヒブ・小児肺炎球菌の無料接種を実施します。さらに、65歳以上の季節性インフルエンザワクチン接種希望者や75歳以上の肺炎球菌ワクチン接種希望者への助成など、個人の健康管理と感染症の流行を防止します。	子宮頸がんワクチン 410件 ヒブ 439件 小児肺炎球菌 522件 高齢者肺炎球菌 103件	○	○	健康福祉課
⑬食育の推進	各課と連携して食育講習会「いきいきすいっこ教室」、「親子で手づくり郷土の味教室」、健康推進員協議会による「親子ヘルシー教室」を実施します。また、町で独自に作成した食育絵本を活用し、継続して知識の普及啓発を行います。	食育絵本の配布・・・3歳児健康診査 6回 対象者 180名、配布 165名 食育講習会の開催 年4回 参加者 75名 親子ヘルシー教室 年2回 参加者42名	○	○	健康福祉課

◆教育文化施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度未実績	担当課
①特色ある幼児教育の推進	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる大切な時期であり、このような幼児期における教育の重要性を考え、町独自に「豊かで特色ある幼児教育の推進」を図るために私立幼稚園に補助金を交付します。また、私立幼稚園に幼児を就園させている保護者の経済的負担の軽減を図るために、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付します。	私立幼稚園運営費補助金は、町内2園に対し各20万円を補助しました。補助対象事業は、昭苑幼稚園が、楽器購入、酒々井幼稚園が、遊具購入です。 私立幼稚園就園奨励費補助金については、町内外の幼稚園7園に対し、園児302人、補助金額31,282千円を交付しました。	△	○	こども課

<p>②学校教育の充実</p>	<p>児童・生徒の読書習慣の形成のため、町公共図書館と学校図書館との連携を学校図書館支援事業として、町の独自事業で継続して推進します。また、特色ある教育活動を推進するため、「小・中スクールサポート事業」、「教職員の特色ある教育活動支援事業」などに取り組むとともに、ALT（外国語指導助手）を活用し、ネイティブの英語にふれ、異文化理解及びコミュニケーション能力の向上を図るとともに、国際理解教育の推進に努めます。さらに、不登校児童生徒に学校復帰の支援をするため、適応指導教室「ふれあいルーム」を運営します。</p>	<p>・学校図書館支援事業は、町公共図書館との連携により、学校図書館の充実が図れました。月間、児童・生徒一人当たりの貸出冊数が、平成20年度1.4冊、21年度1.6冊、22年度2.7冊と増加してきており、今年度は3.3冊とすることができました。</p> <p>・「小・中スクールサポート事業」及び「教職員の特色ある教育活動支援事業」の実施により、各学校の実態に応じたきめ細かな教育活動が実施できました。特に、「教職員の特色ある教育活動支援事業」については、今年度5件の研究申請があり、各校の教員が主体的に授業改善を進めようとしていることが伺え、そのうち3件の研究をサポートすることができました。</p> <p>・小学校5・6年の外国語活動の時間においては、各クラス週1回（年間35回）ずつ、また中学校においては、英語科で各クラス5回及び総合的な学習の時間において各クラス2回、ALT（外国語指導助手）の活用を図った授業を行うことができました。ネイティブの英語にふれる機会の確保と国際理解教育の推進を図ることができました。</p> <p>・適応指導教室「ふれあいルーム」と学校の連携により、昨年度の1学期に1度も登校できていない生徒（全欠生徒）が昨年度の3学期には週に一度継続してふれあいルームに通えるようになりました。今年度はさらに、週2回にまで通学回数が増えました。学習指導とともに進路指導にも力を注いだ結果、年度末には中学3年生が4名とも卒業後の進路を決定することができました。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>学校教育課</p>
<p>③教育環境の整備と安全対策</p>	<p>大室台小学校及び酒々井中学校の屋外トイレの改築を行い、また、通学路の安全対策として、横町地先の町道で待避が可能な空間の確保を図るなど、危険な通学路のリスク低減に努め、通学路等の危険箇所除去を行い、子どもたちが安全で健やかに育つ環境整備を推進します。</p>	<p>大室台小学校と酒々井中学校の屋外トイレの改築は、平成23年9月7日に工事請負契約を締結し、既存トイレを解体撤去し、新設トイレは、11月30日に完成しました。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>こども課</p>
<p>④文化財保存事業の実施</p>	<p>史跡本佐倉城跡の保存・活用のための史跡整備事業として、これまでの発掘調査・資料整理の成果に基づき、本格的な復元整備事業に向けて、「基本設計書」の作成に取り組みます。また、町の顔づくりに資する景観資源の基本調査を実施します。</p>	<p>平成22年度に続き、本佐倉城跡整備基本設計の2年目として、史跡本佐倉城跡調査整備委員会に諮りながら基本設計図、説明書等の作成を完了しました。史跡本佐倉城跡調査整備委員会については、7月6日、10月24日、3月29日の3回開催しました。景観資源基本調査は、国の緊急雇用対策事業を活用し、町内における30箇所の道標調査のとりまとめを行いました。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>社会教育課</p>
<p>⑤史跡ウォーキングの実施</p>	<p>町内に数多く所在する貴重な文化財等や豊かな自然環境など、町内外へ向けての周知とともに、町の観光振興、交流人口の増加策の一つとして、引き続きボランティアガイドと協働で取り組みます。</p>	<p>8月11日（木）第1回実行委員会開催 9月15日（木）第2回実行委員会開催 10月19日（水）第3回実行委員会開催 参加申込受付10月3日（月）～10月14日（金） 10月23日（日）一般参加者数112名</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>社会教育課</p>

⑥生涯学習の推進	<p>文化の発展、生涯学習振興の一助となるよう文化財保護団体、町体育協会、スカウト団体等社会教育・社会体育団体への助成を拡充し、町民の文化・スポーツ活動等のさらなる活性化を図り、生涯学習を通じた住民参加のまちづくりを進めます。</p> <p>また、これから地域にデビューをされる60歳を迎えられる方々の人生の節目を祝福するとともに、今後の人生を充実させるための学びへの招待や、個々の培った力を地域で活かしてみたいという行動の契機の間として「盛年式」を秋に行いたいと考えています。</p> <p>さらに、『歴史文化を以って立町をなす』をコンセプトに、町民の皆様から自分の住んでいる町がどういったのか、どういった歴史があったのかを知ってもらう知の振興を図るため、歴史文化遺産を「しすい学」として小冊子にとりまとめ刊行するほか、地域資源を活用したコンテンツをホームページで公開するなどのビジュアル化を進め、酒々井町の歴史文化を広く全国に発信します。</p>	<p>地域の教育力を活用し、順天堂大学に委託しての生涯学習公開講座を実施しました。</p> <p>《前期2回》 第1回「コーディネーション運動教室」31名参加 第2回「ダンス教室」29名参加</p> <p>《後期2回》 第3回「陸上教室」32名参加 第4回「サッカー教室」29名参加</p> <p>会場：順天堂大学さくらキャンパス 対象：町内在住在勤の小学生親子 受講料：無料</p> <p>アンケート結果からは97%の方が「満足」との回答がありました。</p>	△	○	社会教育課
		<p>〈盛年式〉酒々井町と酒々井町住民公益活動団体から組織する実行委員会と協働で「盛年式」を開催しました。</p> <p>開催日：12月11日 場所：中央公民館 参加者：73名（対象者） 内容：・オープニングセレモニー・鏡開き・式典・基調講演・まちづくり団体紹介・酒々井の食体験・展示説明コーナー</p>	○	○	社会教育課
		<p>〈歴史文化〉「酒々井ふるさとガイドの会」等へ活動資金の一部を助成し、本佐倉城跡現地見学会や史跡ウォーキング等を通じ、住民参加のまちづくり事業を推進しました。</p> <p>10月23日（日）に酒々井町史跡ウォーキング実施。（一般参加人数112人）</p> <p>「酒々井学」推進事業については、歴史、地誌、営み（民俗）の3分冊「ふるさと歴史読本」として各1500部を刊行しました。</p>	○	○	社会教育課
		<p>〈スポーツ活動〉スポーツ推進委員によるスポーツに取り組むきっかけづくり、健康体力づくり推進員によるウォーキングを主体とした体力づくり、体育協会による各種スポーツ大会を開催し、延べ3,270名の参加者がありました。</p> <p>また、活動の間となる施設を有効的に活用するとともに、町体育館検討委員会からの提言に基づき総合計画に施設整備を明記しました。</p>	○	○	社会教育課
		<p>〈カレッジコース〉1年生（19名）、2年生（24名）、3年生（19名）により実施中です。</p> <p>〈一般講座〉13の講座を行い、講座からサークルが1つ立ち上がりました。</p> <p>〈こども青樹堂〉5月から3月まで19回行い29名（酒々井小14名、大室台小15名）の児童が参加しました。</p> <p>〈イベント〉生涯学習フェスティバルをはじめ計3つのイベントを実施しました。</p>	△	○	中央公民館

◆生活環境施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①消防・防災事業の充実	消防・防災事業は、非常備消防としての消防団は、地域において重要で大きな役割を担っていることから、その消防団配備の「消防小型ポンプ積載車2台」と「小型ポンプ2台」を更新します。また、町地域防災計画の見直しを行うとともに、災害用備蓄品の整備を図ります。	①小型ポンプ積載車（6分団、10分団）を更新しました。 ②小型動力ポンプ（8分団、9分団）を更新しました。 ③地域防災計画修正業務を平成23年12月に委託し、平成23年度及び平成24年度の2か年で見直しを行っています。 ④防災備品及び非常食糧を購入し、備蓄を行いました。	△	○	総務課
②中川流域防災事業	被災地域の水害リスクの軽減を図り、安全安心な生活基盤を確保するため、調節池の整備推進に向けて引き続き議員の皆様等に説明を行っています。また、中川流域の地域特性に則した流出抑制対策の着実な実行のため、流域住民の皆様方と話し合いを進めながら、雨水条例等の制度設計の検討を行います。	7月に行われた住民主催の勉強会において、今後の中川治水対策の方向性について「中川流域の治水対策に関する庁内検討会」の報告を説明しました。	△	△	まちづくり課
③交通安全・防犯事業の推進	交通安全・防犯対策は、安全・安心なまちづくり事業の一環として「安全・安心まちづくりパトロール事業」を行うとともに、駅周辺の放置自転車の防止対策及び歩行者等の安全対策を図ってまいります。	①「安全安心まちづくりパトロール事業」については、警備会社に委託し、警備員4名により町内全域のパトロールを実施しました。 ②交通安全対策事業については、信号機の設置や交通違反の取締り等について警察に要望しています。また、注意看板等の設置を行いました。	○	○	総務課
		駅周辺の放置自転車の防止対策及び歩行者等の安全対策として、駐輪場管理の強化を図るとともに放置自転車の撤去を行いました。放置自転車の撤去台数は、京成酒々井駅周辺で174台、JR酒々井駅周辺で152台です。	○	○	まちづくり課
④環境施策の推進	昨年度策定した町の環境対策を徹底し、「環境家計簿」の普及を進めます。また、マイカーではなく、自転車で移動しやすい環境を促進するため、市街地における駅付近の駐輪場の整備を検討します。	「環境家計簿」を作成し、現在ホームページにて公開中です。また、平成24年3月末に「環境家計簿」（2012年版）に更新し、計算式に係る排出係数等を直近の数値に変更しました。	○	○	生活環境課
		自転車で移動しやすい環境づくりについては、策定中の都市マスタープランの中で、環境に関する基本方針「低酸素社会への移行を見据えた環境づくり」に位置付け検討していきます。なお、その上で、駐輪場整備についても検討していきます。	△	△	まちづくり課

◆都市基盤施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①まちづくり施策の推進	地域活性化事業として、（仮称）酒々井インターチェンジへのアクセス道路に係る調査、工事等を行います。また、総合計画を踏まえ、町の将来都市像及び土地利用を明らかにするため、都市マスタープランの見直しを行います。さらに、住民の生活環境の向上、緊急地域経済対策として、雨水貯留、浸透対策を踏まえて、住宅リフォーム補助事業を行います。	【アクセス道路整備】 （仮）酒々井インターチェンジアクセス道路の整備率については、発注済み工事を含めると事業費ベースで約69%です。 【都市計画マスタープランの見直し】 都市計画マスタープラン策定委員会を2回開催し、町の現況・課題を整理するとともに都市の将来像や都市づくりの方針の骨子案を検討した中間報告書を取りまとめました。 【住宅リフォーム補助事業】 住宅リフォーム補助事業については、57件、合計453万円の補助金を交付しました。	△	△	まちづくり課
②町道の整備	町道4路線の道路改良を行うため、測量、設計、調査、工事、用地購入等を実施し、また、東関東自動車道に架かる2橋の耐震対策工事を行います。さらに、JR酒々井駅自由通路の補修を行うとともに、障害者用トイレの新設及び既存トイレの改修を行うほか、町道の維持・管理に努めます。	町道4路線のうち3路線については、それぞれ用地買収を進めています。 東関東自動車道に架かる2橋（南酒々井橋、平台橋）の耐震対策工事については、前年度繰越事業の剥落対策工事が遅れたため、次年度に見送りました。なお、平成22年度繰越事業としての耐震補強設計及び剥落対策工事は完了しました。 JR酒々井駅自由通路の補修については、国費である交付金の決定が受けられなかったため事業を見送りとしました。	△	△	まちづくり課
③公園の再生整備	地震等の大規模災害が発生した場合に、隣接する役場等各施設と連携し、機能分担により防災拠点の一翼を担う防災設備を備えた公園として、中央台公園の再生整備を実施します。	中央台公園防災等再生工事（1期工事）として、臨時駐車場、園路（一部）、休憩施設等の整備を行いました。	△	○	まちづくり課

◆産業経済施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①商工業の振興	地域の活性化と若手後継者育成事業及び商工業の振興を図るための事業を行う町商工会に対して、引き続き補助金を交付します。	商工会事業補助金（3,800,000円）及び商工業推進事業補助金（450,000円）を交付しました。	○	○	産業課
②農業施策の推進	墨笠原地区土地改良事業として、老朽化したポンプの改築を補助します。また、子ども達に負担を残さないため、国営印旛沼二期土地改良事業の将来負担を考慮し、基金への積立を行います。	墨笠原地区土地改良事業は、平成22年に井戸及び用水ポンプの調査事業に対し70万円の補助を行いました。また、平成23年度においては、水中ポンプの交換及び井戸内部の一部を二重ケーシングの修繕事業に367万円の補助を行いました。 国営印旛沼二期土地改良事業に係る負担金を平成31年度に一括支払いを行うため、農業基盤整備基金条例を設置して、平成22年度から平成31年度まで毎年2千万円の基金を積立てる予定であり、平成24年3月に積立てを行いました。	○	○	産業課

<p>③観光施策の推進</p>	<p>町名の由来である「酒の井」や「酒々井の宿」の町並みについて、今後の施設整備の検討をします。なお、観光資源の発掘や国内外の観光客の誘致のための基盤づくりについて調査研究するとともに、既存の観光資源については、町のホームページや観光マップ等により情報発信をします。</p>	<p>主要な観光施設(ちびっこ天国・ハーブガーデン・まがり家)について、主要観光施設の入込数調査(7~12月期:66,295人)を行うとともに、ハーブガーデン通路の改修やビニールハウスの屋根張替工事を行う等施設整備の充実を図りました。</p> <p>また、県情報への掲載や県観光物産協会への「タウンガイド(100部)」を配布する等、各関係機関へ観光情報の発信を積極的に行いました。</p>	<p>○ ○</p>	<p>産業課</p>
		<p>文化財保護と活用による観光振興施策として「酒の井」、「酒々井宿」の町並み保存と活用のため古民家景観の保全・修景施策の検討をしました。検討内容は「歴史文化基本構想」及び「文化財保護条例の改正」で、文化財保護条例改正は3月定例議会にて議決。</p> <p>町のホームページ観光情報の観光スポットコンテンツを更新しました。</p> <p>また、「酒々井の街道と道標」、「酒の井パンフ」を作成しました。</p>	<p>△ ○</p>	<p>社会教育課</p>
<p>④酒々井ブランドの創出</p>	<p>商工会、農業団体、郷土を愛する団体と協働し、地域産業の発展、観光振興及び町のイメージアップを図るため、地域資源を活用した新たな商品開発、地域ブランド商品を「酒々井ブランド」として創出するため、町・商工会・住民による「酒々井ブランド創出会議」により、調査研究等を行います。</p>	<p>①「酒々井ブランド創出会議」を7回開催しました。(H23年10月,12月~H24年3月)</p> <p>②酒々井ブランド提案選定商品をふるさとまつりへ紹介と試食(アンケート依頼)飲食加工等10点の評価とアンケートを実施しました。</p> <p>③ふるさとまつり評価、アンケートをもとに5点に絞りこみ(12月)併せて創出会議に酒々井町推奨品認定部会の設置の承認を得ました。</p> <p>④酒々井町推奨品認定部会を設置、委員を委嘱しました。(6名)2/16開催</p> <p>⑤町内食品関係事業所330か所に推奨品認定の募集をしました。→20事業所から応募→20品目が審査会で認定されました。</p> <p>⑥認定された推奨品に認定書・認定シール・のぼり旗が付与されました。</p> <p>⑦ガイドマップ酒々井町と酒々井ブランド商品・酒々井町推奨品紹介パンフを作成(各3万枚作成)し、配布しました。</p>	<p>△ ○</p>	<p>住民協働課</p>
<p>⑤雇用対策の推進</p>	<p>緊急雇用対策事業として、役場や学校、都市公園など、公共施設の樹木剪定、伐採等を実施します。</p>	<p>千葉県ふるさと雇用再生特別基金事業は、3事業・延べ14人の雇用を創出し、緊急雇用創出事業では7事業・延べ87名の雇用を創出しました。</p> <p>【ふるさと雇用再生特別基金事業：3件】</p> <p>①地上デジタル放送の推進及び情報発信の強化事業(総務課)②安全・安心まちづくりパトロール事業(総務課)③酒々井ブランド創出事業(住民協働課)</p> <p>【緊急雇用創出事業：7件】</p> <p>①酒々井町交流サロン管理者雇用事業(住民協働課)②町内出土考古資料整理事業及び景観資源基本調査事業(社会教育課)③しすいハーブガーデン管理運営強化事業(産業課)④公共施設管理事業(樹木の剪定・伐採：財政課)⑤安全・安心住宅耐震改修普及事業(まちづくり課)⑥観光活用のための古民家・古建築基本調査(社会教育課)⑦酒々井町公園管理台帳作成事業(まちづくり課)</p>	<p>○ ○</p>	<p>産業課</p>

◆地域社会と行財政施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度未実績	担当課
①住民参加・協働施策の推進	<p>高齢者のとじこもりの防止や話し合い、情報発信等、地域の皆さんが互いに知り合い、交流を深めることのできる場となるよう公益活動の拠点として「井戸端」の運営・充実を図ります。また、新たに、“地域のお困りごと”を地域の皆さんと町との協働により解決していくため、地域住民が主体となって実施する都市公園等の環境美化活動等への支援や、生活環境整備工事に必要な資材などの支給を行うなど、住民公益活動をさらに推進します。</p>	<p>「井戸端」平成23年度利用実績（延べ） 団体 1,363人（160件） 個人 4,941人（うち60歳以上4,214人） 協働の指針づくり実績（協働のまちづくり研修会） 平成23年10月12日参加者：21名（職員対象） 平成23年11月10日参加者：13名（職員対象） 平成23年12月2日参加者：10名（職員対象） 平成24年1月21日参加者：一般：40名（住民活動団体対象） 公園等愛護活動推進事業認定団体 実施団体 10 団体 実施公園等 11 箇所 資材等支給事業実施実績 実施地区 ①大鷲自治会第5班 ②下岩橋農家組合</p>	○	○	住民協働課
②総合計画策定に向けた取り組み	<p>平成22年度に実施した基礎調査や先進福祉ビジョン懇談会等町民のご意見を基に、平成24年度からスタートする第5次酒々井町総合計画の基本構想及び前期基本計画を策定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各課等に対し、基本計画に係る事業シート及び分野シート調査を実施しました。 総合計画懇談会（第5回～第10回）を開催しました。 基本理念 「みんなが主役、未来へつなぐまちづくり」及び 将来都市像「人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井」を決定しました。 施策の大綱、前期基本計画における重点施策のテーマ 「安全・安心づくり」「魅力づくり」「健康づくり」を決定しました。 進捗状況に合わせ、町ホームページへの掲載や公民館等へ紙ベースで配置して策定状況を公表しました。 基本構想（素案）及び前期基本計画（素案）に対する意見募集を行いました。 町議会において基本構想を議決しました。 前期基本計画の調整、総合計画書を作成しました。 	○	○	経営企画課
③情報管理と情報発信力の強化	<p>地上アナログテレビ放送が本年7月に終了することになりますので、町民の地上デジタル放送へのスムーズな移行を支援するとともに、町ホームページの充実及び庁内のICT化を進め、町の情報発信力の強化に努めます。</p>	<p>住民からの相談を受け国への窓口になるとともに、役場等においてデジサポによる対面相談を行うことで、地上デジタル放送への移行がスムーズになるよう支援しました。</p> <p>また、ホームページについては行政情報を迅速に発信することに併せユーザビリティへの配慮、国際化への対応等が可能となるようコンテンツ・マネジメントシステムの導入を進め、既存ページのレイアウトの統一などを行いました。</p>	○	○	総務課
④税の確保	<p>平成24年度の評価替えに備え、「固定資産業務支援システム」の更新を行います。</p>	<p>「固定資産業務支援システム」は平成15年に導入し、耐用年数が過ぎ故障リスクも高まっていたことから、パーソナルコンピュータ及びそれに対応した最新ソフトへの更新を行いました。</p>	○	○	税務課